

# 2015(平成 27)年度 事業報告

一般財団法人 芙蓉協会

## 1. はじめに

2015年度の法人全体の取り組みとして医療・保健・在宅の3事業が一体となってサービスを提供できるよう、まずは病院と健診センターの連携強化を目指した。健診センターから病院への紹介の際の複雑な手続きを廃止し、簡便に紹介できるよう見直しを図った。また、病院と健診センター医局との医師同士顔の見える関係作りも功を奏し、健診センターから病院への紹介患者が年間400件増加するなど効果が現れる形となった。また、目標参画制度を活用し、役割、能力評価を付加した人事制度をスタートさせ2年目に入ったが、制度運用に力が注がれてしまったため評価者調整や評価の標準化に取り組むことができなかった。出来るだけ早期に人事考課まで成熟できるよう今後も取り組んでいきたい。

2015年度の事業実績では、医療事業においては、懸案であった呼吸器内科常勤医確保と入院収益増収のために入院経路のひとつである「紹介患者」増加を図った。特に紹介から入院につながるルートが今後の医療収益のベースとなっていくことに期待したい。

健診事業においては、常勤医・非常勤医を確保することができ、施設内・施設外健診ともに利用者数増加となり予算を大きく上回る収益を得ることが出来た。また、利用者数の増加だけでなく ISMS 維持審査や人間ドック健診施設機能評価更新による質の担保もできており、さらなる受診者増加に期待ができる。

在宅事業においては、ショートステイ、デイサービスを柱とした「看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町」を開設させ、開設した意義と必要性を実感できた年であった。開設1年目で予算に近い契約数まで引き上げられたことは今後の事業継続にも大きな期待が持てる。

経営的には、課題であった病院収益が前年比5.5%増加したにも関わらず、費用は前年比5.8%伸びたことにより7年ぶりのマイナスの経常利益を出す結果となってしまった。次年度は、今年度の結果を真摯に受け止め、経営改善を大きな柱として取り組んでいきたい。

※各事業別の主な経営成績は以下の通りである。

(千円)

科目	事業別	前年実績	平成 27 年度				対前年 実績比
			予算	実績	差異	対予算比	
医療収益		8,163,340	8,739,290	8,633,927	-105,363	98.8%	105.8%
	病院	6,422,119	6,886,070	6,773,008	-113,062	98.4%	105.5%
	健診	1,488,021	1,512,410	1,562,647	50,237	103.3%	105.0%
	在宅	147,347	225,450	185,991	-39,459	82.5%	126.2%
医療費用		8,224,594	8,641,730	8,701,759	60,029	100.7%	105.8%
	病院	6,668,171	6,999,460	7,057,659	58,199	100.8%	105.8%
	健診	1,293,527	1,337,920	1,333,031	-4,889	99.6%	103.1%
	在宅	157,677	211,290	210,188	-1,102	99.5%	133.3%
経常利益		23,431	120,000	-43,219	-163,219	—	—
	病院	-166,499	-74,300	-251,773	-177,473	—	—
	健診	199,743	180,000	230,682	50,682	128.2%	115.5%
	在宅	-9,814	14,300	-22,128	-36,428	—	—
当期純利益		4,949	70,000	-43,271	-113,271	—	—
	病院	-180,733	-74,500	-251,716	-177,216	—	—
	健診	195,813	134,000	230,574	96,574	172.1%	117.8%
	在宅	-10,141	10,500	-22,128	-32,628	—	—

## 2. 聖隷沼津病院

経営課題であった医師の確保は、今年度呼吸器内科医1名、外科1名を増員することができ、入院患者をベースにしていく経営資源の整備ができた。その次に、入院患者獲得のためのルート確保をしなければならないのであるが、当院にとって必要なことは紹介からの入院数を増加させることである。そのために、同法人内の健診センターとの緊密な連携が病床稼働率の向上に寄与するものと考え取り組んだ。外科手術患者が他病院へ流出し、手術症例が減少していることから、外科医師と健診センター医局と顔の見える関係作りを行い、煩雑な紹介手続きを簡便化するなど健診センターからの紹介患者が年間約400件増加する効果が現れた。これらも一助となり年間手術件数も全科で対前年3.6%増加が見られた。総入院患者数も約4.9%増加するなど予算に少しずつ近づいてきている。

また、今年度は診療機能の効率化を目指し、2016年1月に電子カルテの導入を行い、職員の事前の準備と患者さんの理解により大きな混乱もなく導入できたことは順調な導入であったと評価できる。

しかし、入院・外来患者数増加と電子カルテ導入準備もあり、時間外勤務も多くなり、手当が増加したことは次年度以降への課題である。診療機能を効率化させるためのシステム導入でもあるため、解決させなければならない。また、外来患者数増加に伴う薬品費の増加も課題を持って次年度取り組まなければならない。

次年度は、診療報酬改定が行われ、7対1入院基本料を維持するための要件がさらに厳格化され、「重症度、医療・看護必要度」、「平均在院日数」には注視しなければならない。経営的には病床稼働率向上も課題である。次年度、「地域包括ケア病棟」の開設を予定しており、病院経営の安定化はもちろん、地域に果たすべき役割を明確にしていきたい。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
入院1日平均患者数(人)	161	180	163	-17	2
単価(円)	47,148	47,200	47,922	722	774
外来1日平均患者数(人)	589	610	618	8	29
単価(円)	19,934	19,900	20,421	521	487

## 3. 聖隷沼津第一クリニック（聖隷沼津健康診断センター）

2015年度は、施設内においては、4月に改修工事を行い胃部X線撮影装置の増設、全自動採血管準備装置を更新し、効率化を図り予約枠を増やすことを行った。住民検診の実施期間が10月までと短縮されたマイナス要因を跳ね返し、昨年実績に対し7.2%(1,920万円)増に結びつけることができた。また労災二次健診において、病院検査室の協力を得て、頸動脈エコーを昨年実績18%(150万円)増につなげることができた。

施設外においては、図書印刷や三島新聞堂等の新規事業所を増やすことができ、施設内・外共に順調に業績を伸ばすことができた。

医師確保において、4月より常勤医師1名、非常勤医師2名(内科医、産婦人科医)と雇用契約を結ぶことができ順調に業務を行うことができた。

センター全体では、10月には過去最高の医業収益を更新することができ、受診者数で前年対比及び予算に対し約5%増、収入では対前年比で4.8%(7,000万円)増、対予算で4.4%(4,300万円)増となり、税引前当期純利益としては約2億3,000万円の成績で終わることができた。

施設として、健診システムの更新及びデータ移管も保健事業部との連携をはかり順調に進めることができています。1月にはISMSの維持審査、2月に日本人間ドック学会の人間ドック健診施設機能評価の更新審査もあり無事更新することができた。

防災においては、津波や火災を想定した防災訓練の実施と緊急連絡安否確認システムの緊急メールを使用した緊急連絡テスト及び沼津市危機管理課より講師を招いての防災講話をすることでスタッフ

の防災対策への意識向上に繋げることができた。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
施設内受診者数 (人)	74,733	76,052	80,781	4,729	6,048
施設外受診者数 (人)	42,487	42,690	43,711	1,021	1,224
外来受診者数 (人)	5,652	5,900	5,669	-231	17
単価 (円)	12,015	12,062	11,886	-176	-129

#### 4. 在宅サービス事業部

##### (聖隷訪問看護ステーション千本・看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町)

2015年度は看護小規模多機能型居宅介護(看多機)事業所の開設ができた。重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で過ごすサポートを目的に開設し、その目的に沿って、発熱しても点滴が必要になってもデイサービスやショートステイでみてきた。また、1年間で11人を看取ったことからサービスの必要性と地域包括ケアシステムを実感できた。これは、訪問看護ステーションを併設し看護師の人数が多くいることで可能になったことである。

訪問看護は地域の医師やケアマネとの連携をとり、信頼に応えることでサービス依頼につながっている。しかし、30分の処置だけの依頼が増えているのも現実なので、本来の訪問看護内容にこだわりつつ依頼に応じていきたい。

リハビリは呼吸療法認定士の資格を持つ者も含め、全スタッフで業務内容の拡大に努め、地域の医師、ケアマネからの依頼獲得に向け他のリハビリとの差別化を行った。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
医療保険 利用者延べ数 (人)	3,582	3,730	3,346	-384	-236
単価 (円)	10,757	10,670	10,802	132	45
介護保険 利用者延べ数 (人)	16,373	16,560	13,668	-2,892	-2,705
単価 (円)	6,449	6,680	6,648	-32	199

### 【2015(平成27)年度の主な行事】

#### 法人全体

行 事 内 容	実 施 日
新入職員オリエンテーション	4月 1日～ 2日
監事監査(決算、中間)	5月11日、 9月17日
理事会	5月13日、 3月22日
中堅職員研修(全6回)	5月21日、 7月24日、 8月27日、 10月17日～18日、11月13日、 3月11日
新人職員研修(全2回)	6月 6日～ 7日、 1月15日
評議員会	6月10日
クリーンアップ作戦(河川等の清掃)	6月20日
2年目職員研修	7月11日～12日
インストラクター研修	9月16日
聖隷福祉事業団による関連法人外部監査	11月 5日
第28回聖隷沼津学術集会	11月 8日

## 聖隷沼津病院

行 事 内 容	実 施 日
介護職員等によるたんの吸引等の研修(第2号・第3号)	5月8日～6月30日 9月1日～10月29日 1月5日～2月28日
盲導犬受入セミナー	5月14日
医療安全セミナー	5月28日、6月9日、6月15日、 8月28日、9月4日、9月8日
認知症サポーター養成講座	6月10日
第11回市民公開講座 「足のトラブル大丈夫? ～外反母趾からリウマチまで～」	6月13日
防災訓練	6月20日、10月31日
第9回地域連携懇話会	6月30日
高校生一日看護体験	7月30日、8月18日
院内感染対策セミナー	8月13日、9月14日、10月19日、 11月9日、12月14日、1月18日
聖隷福祉事業団による関連法人施設基準外部監査	8月18日
潜在看護師再就業準備講習会	9月28日～30日
ISO維持審査	10月14日～15日
高校生職業体験	10月21日～23日
医療法第25条第1項に基づく立入検査・消防立入検査	11月4日
BLSセミナー	11月16日、11月21日
電子カルテ運用リハーサル	11月28日、12月12日
聖隷沼津クリスマスコンサート	12月19日
無料定額診療事業指導監査	2月4日

## 聖隷沼津第一クリニック(聖隷沼津健康診断センター)

行 事 内 容	実 施 日
地震(津波)想定防災訓練	8月21日
感染対策セミナー	9月1日
医療法第25条第1項に基づく立入検査	9月9日
ISMS教育セミナー	10月1日
安全運転講習	10月16日
ジャパン・マンモグラフィ・サンデー	10月18日
防災(地震・津波対策)講話	12月1日
ISMS(ISO/IEC 27001:2013)維持審査	1月21日～22日
社会保険労務士講習会	1月26日
火災想定防災訓練	2月9日
人間ドック健診施設機能評価認定更新審査(日本人間ドック学会)	2月29日

## 在宅サービス事業部

(聖隷訪問看護ステーション千本・看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町)

行 事 内 容	実 施 日
看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町 開設	4月 1日
静岡県訪問看護師ステーション協議会電話相談事業	平成21年6月～
全国訪問看護事業協会 理事	平成25年4月～
静岡県訪問看護ステーション協議会 理事	平成22年6月～
静岡県在宅医療体制整備・推進協議会 退院支援体制部会委員	平成27年4月～
沼津介護保険審査会 委員	平成25年4月～
千本地区ケアマネのつどい スーパーバイザー	年4回
千本地区主任ケアマネ研修スーパーバイザー	年4回
沼津市立看護専門学校 講師	年5回
静岡医療センター附属看護学校 講師	年4回
静岡がんセンター在宅緩和ケア研修会 パネラー	5月26日
森町病院市民公開講座 講師	6月27日
静岡県訪問看護ステーション協議会 小児訪問看護講座講師	7月 4日
“他職種連携における保健師の役割と期待” パネラー	10月15日
認知症事例検討会 コディネーター	11月11日
静岡県訪問看護ステーション協議会 中部地区支部研修講師	11月28日
静岡県訪問看護ステーション協議会 認知症研修講師	1月16日
静岡県医師会 在宅ターミナルケア パネラー	1月30日